

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

兵庫県 福崎町

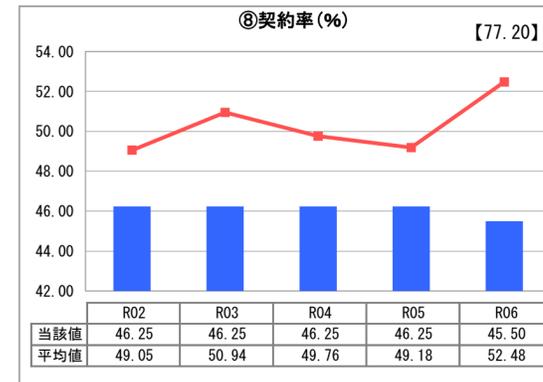
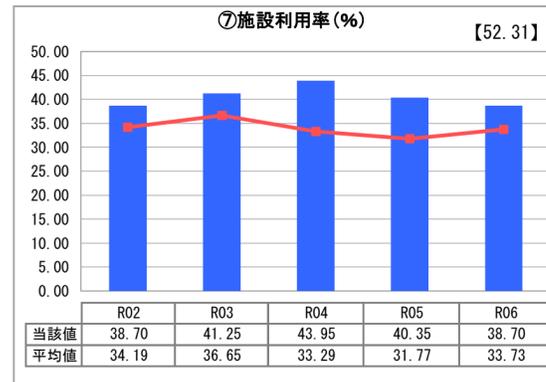
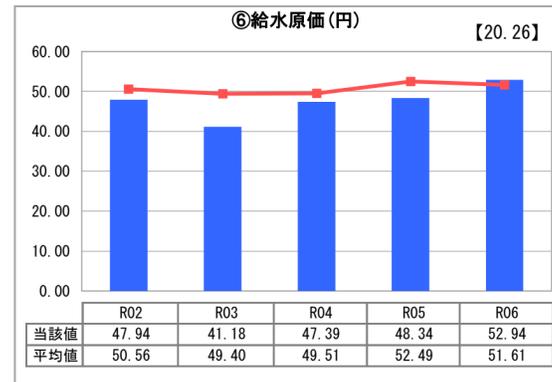
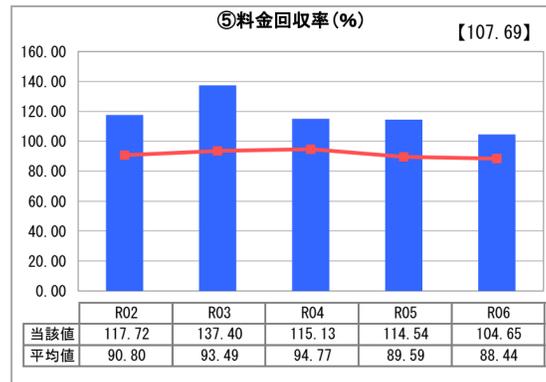
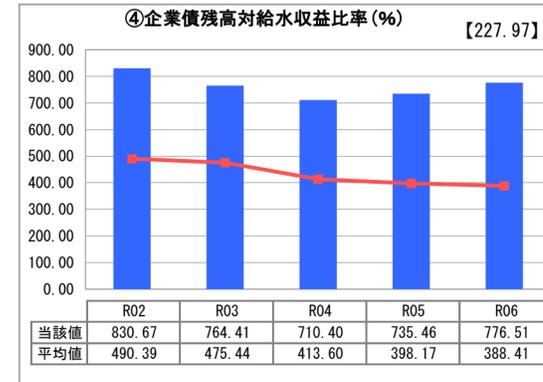
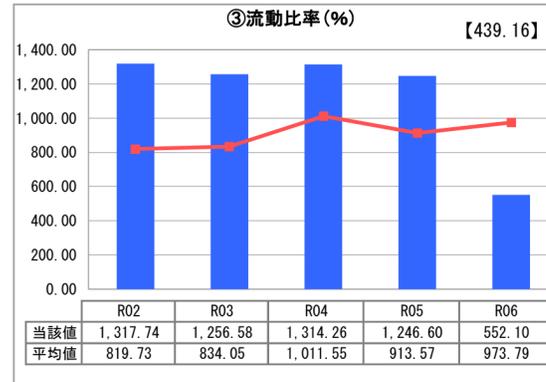
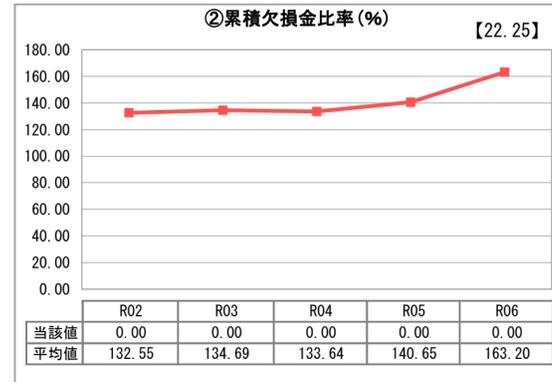
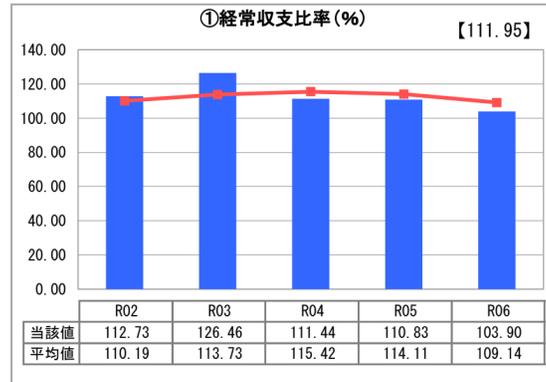
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m ³ /日) 4,000	類似団体区分 極小規模	施設数 1	1日平均配水量(m ³) 1,548
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 69.4	給水先事業所数 29	契約水量(m ³ /日) 1,820	管理者の情報 自治体職員	

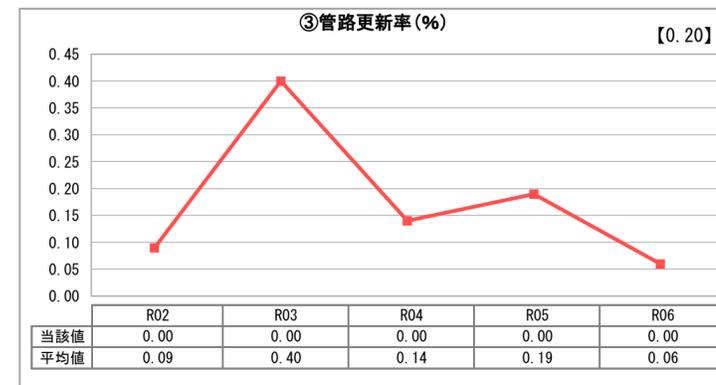
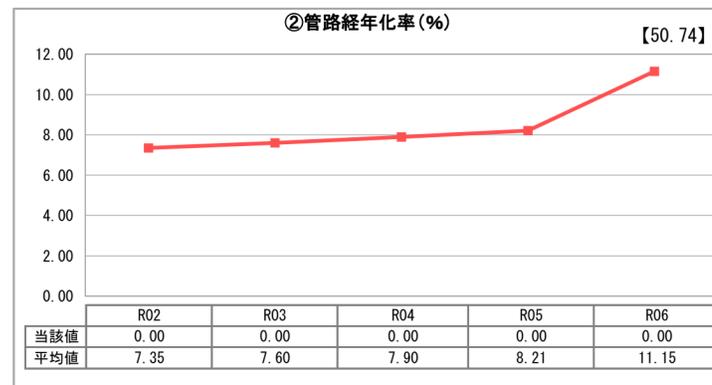
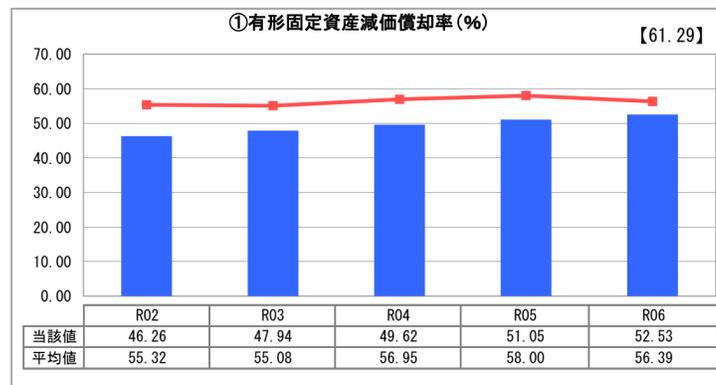
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、単年度の収支が黒字であることを示す100%を上回っているため、経営状況は健全な水準にあるといえますが、類似団体平均値と比較して低い値となっています。
 ④企業債残高対給水収益比率は類似団体の平均を上回る状況が続いています。給水収益と経常費用のバランスを表す⑤料金回収率は100%以上を維持しておりますが、給水原価が上昇しており、今後も自己資金とのバランスを考慮し、適正な資金の管理に努める必要があります。
 ⑧契約率が45.50%と類似団体平均より低い割合になっています。しかしながら、現在取水施設2施設のうち1施設を休止しており、配水量も配水能力の1/2となっている現状を勘案すると、概ね良好な数値であると考えています。とはいえ、契約水量が徐々に減少しているため、現状の契約水量を維持するよう、減量負担金制度等の検討を進める必要があります。

2. 老朽化の状況について

本町の工業用水道事業においては、①有形固定資産減価償却率は類似団体平均よりも低い水準を維持していますが、上昇傾向にあります。今後は資産の状況を正確に把握し、適切な時期に、適切な更新を行うことにより、安定したサービスの供給に努めていきます。

全体総括

本町の工業用水道事業は、「1. 経営の健全性・効率性」では類似団体平均と同程度の経営状況にあるといえます。また、「2. 老朽化の状況」では全体的に比率は低い状況です。しかし、水需要が減少傾向となり、企業債の償還額が増加しているなか、水管橋の更新の必要があり、それに伴う償却の増加により経営の圧迫が予想されるため、料金改定を検討し、安定した事業運営を継続するよう努める必要があります。